

平成30年度 施政方針

◆はじめに

知立市は、市民の皆様方と、協力しあい協働のまちづくりを明文化した『知立市まちづくり基本条例』を、平成17年度全国に先駆けて制定しました。

その前文には、

『私たちは、先人が築いた地域資源や文化を引き継ぎ、より暮らしやすくするとともに、豊かで潤いのある未来を次の世代へ繋げるために、ともに力をあわせていかなければなりません。そのためには、市民が、市民の手で、市民の責任で主体的にまちづくりに取り組むことが大切です。』と謳われています。

知立に住む、知立に集う全ての方々が、それぞれの立場でまちづくりに携わっていただくことで、第6次知立市総合計画が目指す『輝くまち みんなの知立』安らぎ、賑わう、住み良さを誇れるまち』になっていくものと確信しております。

そして、現在様々な場面において多くの皆様方が力を発揮され、ご活躍いただいています。



知立市長 林 郁夫

○市民参加のまちづくり

昨年、知立市のマスコットキャラクタ「ちりゅっぴ」が、『全国ゆるキャラグランプリ』において見事優勝となりましたが、これはまさしく市民の皆様方の力の結集であります。

また、「知立の山車文楽とからくり」のユネスコ無形文化遺産登録を記念して実施した昨年のイベントにおいては、市内外より多くの皆様方に鑑賞いただきましたが、これも祭り関係者の皆様方などのお力によるものです。その他にも様々な分野において、市民の皆さんが主体的に、より住み良い知立づくりのためにご尽力いただいております。

○安全で安心できるまちづくり

犯罪を無くすため毎日・毎晩の防犯パトロールの実施や防犯灯の増設に取り組んでいくとともに、本年度より新たに地域の皆様の同意が得られた町内会への防犯カメラの設置補助なども行ってまいります。

防災対策については業務継続計画（BCP）をもとに、更に訓練や検証を行っていく他、引き続き本年度も名古屋大学減災連携研究センターへ職員派遣を行うなどし、防災に関する研鑽を積んでまいります。

その他にも、防災協定自治体など既存提携団体との連携を強化していきます。

○子ども・子育て支援に関する取り組み

本年度より放課後児童クラブの開所時間を午後7時まで延長していくとともに、子どもたちの放課後の安心安全快適な居場所づくりとして、引き続き放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携を図ってまいります。また、待機児童対策に引き続き努める他、産後ケア事業の実施や母子保健支援相談員の配置など、にじいろニコニコ事業の着実な実施を図ってまいります。

○福祉への取り組み

『福祉を育む意識づくり』として、福

祉健康まつりの実施や市民活動団体などへの取り組み支援、また、職員が高齢者や障がい者の方々により的確に対応すべく福祉関連の職員研修についても引き続き実施してまいります。

また、障がい者の皆様方のための相談員を本年度新たに1人増員し7人体制とするなど、より丁寧な相談体制の確保を図ってまいります。

○環境に関する取り組み

環境に関する取り組みでは本年度、新たに庁舎などの公共施設の空調を計画的に効率化のものに変えるべく、国からの補助を受け「カーボン・マネジメント強化事業」を行うなど、CO₂削減のための環境づくりに取り組んでまいります。

また、地球温暖化対策は広域行政での取り組みがより効果的であると考えており、岡崎、豊田、安城、みよしの各市長とともに締結しています環境に関するの首長誓約などを通じ、これからも着実に取り組んでまいります。

○健康に関する取り組み

引き続き妊産婦・乳児検診事業や特定年齢がん検診推進事業、ワクチン接種事業を実施していく他、自殺防止対策強化事業として、本年度新たに、『こころ応援計画』を策定していきます。

また、80歳で自分の歯が20本以上ある人を表彰させていただく『8020』の実施と併せて、本年度より『9020』を実施し歯の健康づくりへの更なる意識醸成を図ってまいります。

○まちの活力づくり

本年度、駅北に再開発ビルが完成し、2021年には三河知立移設駅が完成、そして、2023年には知立駅が高架になります。

知立駅周辺整備の事業効果が知立市内全域に、最大限波及されていくよう、定住人口、交流人口をより増大させるべく、また、経済効果や税収効果を最大限に発揮させるよう、丁寧に着実に進めて

まいります。

観光施策については、いよいよ本年度より、東海道沿いに観光交流センターを供用開始してまいります。

観光案内所機能や休憩所機能と併せて定期的な文楽公演や「ちりゅっぴ」との触れ合い機会なども設けていくなど、市内外の多くの皆様方に「知立の魅力」を、再発見・新発見していただける交流の場となるように努めてまいります。

○より効率的、効果的な行政運営

多様化する行政課題、厳しい財政事情などを鑑み、本年度もモットーを「意識や内部管理コスト意識を徹底していきます」。併せて、民間活力の導入や広域行政の推進、公共施設における夜間警備やエレベーターなどの包括管理委託、電気やガスの契約方法の見直しなどにより効率的で効果的な行政運営に努めてまいります。

また、税収確保の視点からも、引き続き知立駅周辺や山町山の土地区画整理事業を実施していく他、鳥居地区や蔵福寺地区における土地区画整理事業の推進と併せて、再開発事業として駅北再開発事業とともに西新地地区の再開発事業も推進してまいります。

○おわりに

今年、明治維新150年の年であり、本年のNHK大河ドラマは維新立役者のひとりでもある西郷隆盛を主人公とした『西郷（せご）どん』であります。

その西郷隆盛遺訓のひとつ『いつも心を慎み、普段の行いを正しくし、驕りや贅沢を戒め、つましくすることに努め、仕事に励んで人々の手本となる。』は、自分自身常に心に留め、指針としている言葉でもあります。

本年もその遺訓の言葉と響きあう5つの知立市職員の誓いを私ども職員一同しっかりと遵守し、市民の皆様方に安心感や信頼感を抱いていただけるよう誠心誠意市政に邁進してまいります。